

事例⑥

お金に困っている
様子が見られて…



ヘルパー
平野正さん(仮名)



私がかがっている一人暮らしの泉さん(仮名76歳男性)のお宅では買い物頼まれま
す。最近、そのリストの品数が減り、必ず飲
んでいた牛乳も「いらなく」とおっしゃるよう
になりました。

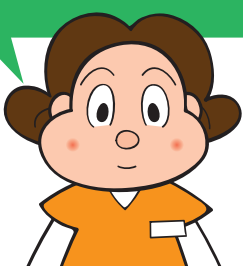
ついに、買い物は必要ないとおっしゃるの
で、変だなと思って聞いてみると、必ず儲か
るからと勧められた先物取引で大損してし
まったとのこと。業者を信用して貯金を預け
ていたので生活のお金にも困っていたのです。
私は事業所に連絡し、事業所から連絡を受
けたケアマネジャーは本人に付き添って消費
生活センターで一緒に話を聞きました。

気付きと対応のポイント

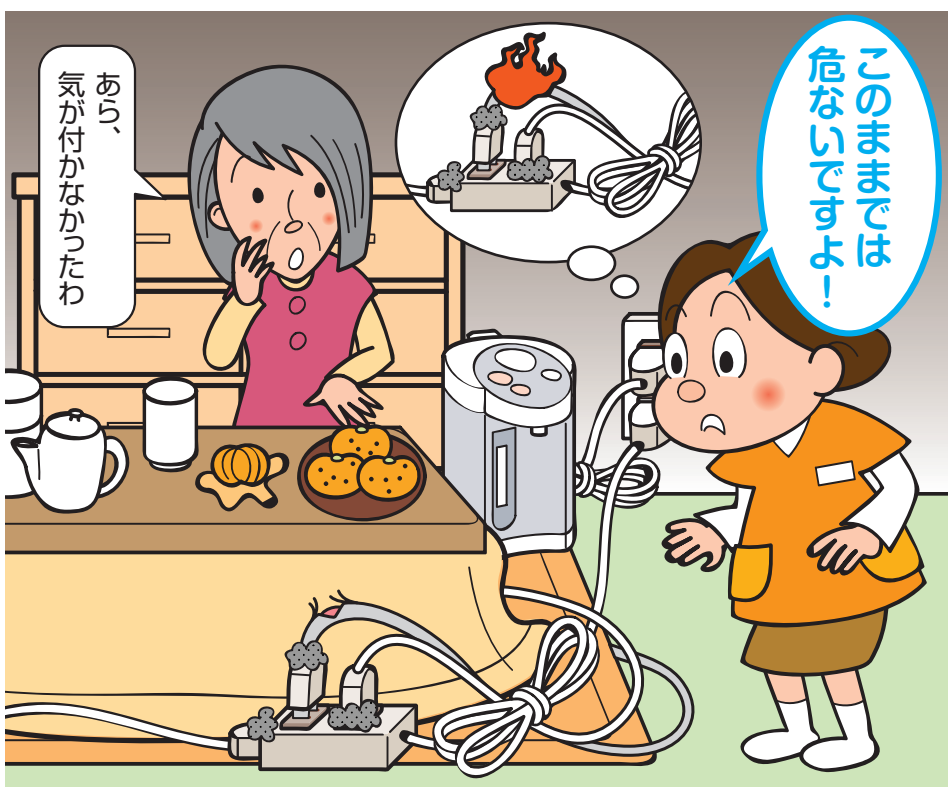
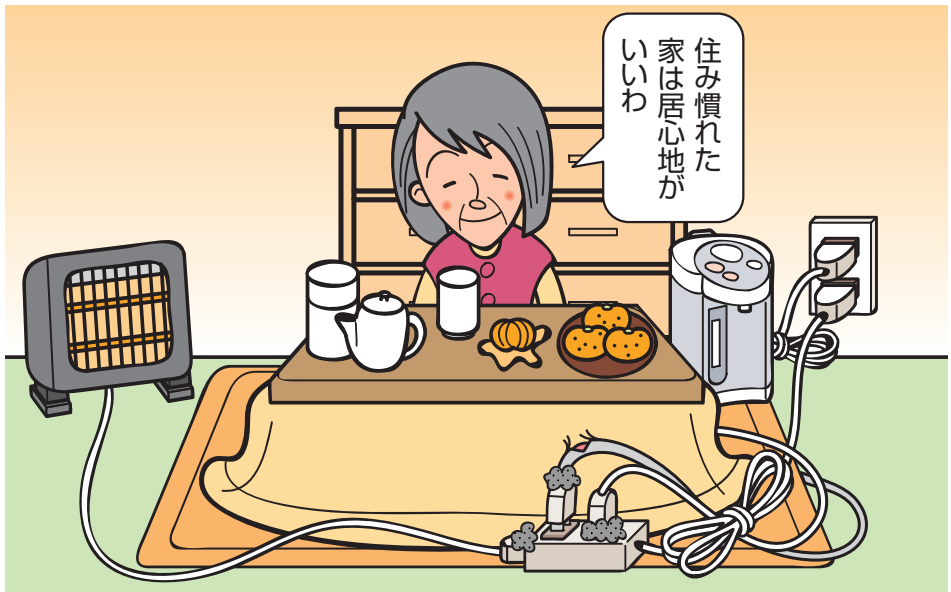
- ① お金に困っている場合は、トラブルに巻き込まれている可能性があります。
- ② いくつかの業者から借金を重ねて多重債務に陥っている可能性もあります。金融会社からのダイレクトメールや請求書等にも気を配ってください。
- ③ 日常の金銭の管理が不安になってきた場合は、日常生活自立支援事業などを利用する方法もあります。

事例⑦

長く大切に
使っていたけれど…



ヘルパー
藤原真由子さん(仮名)



私が担当する竹田さん(仮名80歳女性)のお宅にはじめてつかがった時、こたつ、ホットカーペット、電気ストーブがひとつのテーブルタップからたこ足配線になっており、そこに埃がたまっていました。さらに、コードの一部が破れており、非常に危険な状況でした。

私は安全を確保するために、ケアマネジャーと協力して古いコードを取りかえ、部屋の模様替えを手伝いました。さらに訪問時にはコンセントと電源プラグの間に埃がたまらないよう、担当ヘルパー間で情報を共有してきれいに掃除をしたり、テーブルタップの加熱状況をチェックするようにしました。

気付きと対応のポイント

- ① 電気器具をたこ足配線すると、その箇所が過熱してショートし、火災になる可能性があります。
- ② 電源プラグは根本まで確実に差し込み、使用しない電源プラグは抜きましよう。また、電源コードは、断線がないか、定期的に点検ましよう。
- ③ 高齢者宅には、老朽化した家電製品や危険が伴う暖房器具が置いてある可能性があります。定期点検を行い家族と相談して安全を確保できるよう支援ましよう。

トラブル対応の フローチャート

対応の一例を紹介します。地域の 実態に応じて参考にしてください。

